マンション管理ガイドブックについて

1 ガイドブック改定の背景

- ○「東京におけるマンションの適正な管理の促進に関する条例」の制定
- ○管理組合がマンションの適正な管理の推進及び社会的機能の向上に資する取組 を実施する際の具体的な指針となる「東京におけるマンションの管理の適正化に 関する指針(以下「指針」という。)」を条例に基づき制定
- ○浸水に対する防災対策の必要性の高まりなど、マンション管理を巡る状況の変化

2 ガイドブックの目的

○指針を詳細に解説し、マンションの管理の主体である管理組合が取り組むべき事項を記載するとともに、マンション管理士、マンション管理業者、マンション分譲事業者がそれぞれの業務の遂行に当たって実施することが望ましい事項を示すことにより、管理組合や関係事業者等による適正な管理と円滑な再生に向けた取組を促進

3 主な改定内容

(1) 名称の変更

「マンション管理ガイドライン」から「マンション管理ガイドブック」へ変更

(2) 条例に基づく指針の内容を解説

・指針に掲げる管理組合が取り組む必要がある事項等について、詳細に解説 【主な例】

- ▶維持保全の実態に応じた修繕積立金の設定
- ▶総会の議事録、設計図書及び修繕工事の履歴情報等の保管
- ▶管理者等への外部専門家の活用

(3) 防災対策、環境性能の向上など社会的機能を向上する取組に関する記載を充実

- ・管理組合が取り組む際の具体的な手順、事例などをコラムとして新たに追加 【追加したコラム例】
 - ▶マンションの浸水対策や参考となる事例
 - ▶電気自動車等用充電設備の導入方法や事例
 - ▶住宅宿泊事業(民泊)への対応